



## 第4回 産業遺産とは

遺跡とその文化的景観があり、国内暫定リストには『富岡製糸場と絹産業遺産群』『九州、山口の近代化産業遺産群』『金を中心とする佐渡鉱山の遺産群』が掲載されています。

1994年、世界遺産委員会は、それまでの世界遺産登録物件が『ヨーロッパの遺産』や『都市と信仰に関する遺産』が多いなど、登録分野に偏りがあるとし、これらの登録遺産の不均衡を解消するために、今後、登録を推進すべき遺産の種類を示しました。それが『文化的景観』『20世紀建築』、そして『産業遺産』という分野です。『産業遺産』は世界遺産委員会が登録に力を入れている分野の一つといえるのではないのでしょうか。

**葦** 山反射炉を含む『九州、山口の近代化産業遺産群』は、『産業遺産』という分野で、世界文化遺産登録を指しています。

産業遺産とは、ある時代ある地域の産業の姿を伝える遺物や遺跡であり、歴史的、技術的、社会的、建築学的または科学的価値のある産業文化の遺物からなります。建物や機械、工房、工場、製造所などの生産施設のみならず、輸送施設、生産物を消費する場所、住宅、宗教礼拝、教育など産業に関わる社会活動のために使用される場所も含まれます。日本にある産業遺産の世界文化遺産には『石見銀山

葦山反射炉応援団  
会員募集中

詳しくは、応援団のホームページをご覧ください。

URL [hansyaronet](http://hansyaronet)

☎ 世界遺産推進課

055(948)1425